

テーマ	簿記の基礎 (Ⅳ)
-----	-----------

1. (8) ~ (11) までの取引を仕訳し、各勘定の残高を集計し、貸借対照表と損益計算書を作成しなさい。

(7) 手元には現金 1,167,500 円と備品 500,000 円、商品 200,000 円 (@1,000 円×200 個) がある。

(8) 今月も継続して商品の仕入・販売を行うことにした。商品 1,500,000 円 (@1,000 円×1,500 個) を仕入れたが、手元の現金では不足するので来月支払うことにした。先月同様に @2,000 円で販売することにした。

① 商品 1,500,000 円増加とともに買掛金 1,500,000 円増加

	借方	貸方
①	商品 1,500,000	買掛金 1,500,000

(9) 1 ヶ月が過ぎ、努力の末 @2,000 円で先月の 1.5 倍の 1,200 個を販売することができた。なお、700 個は現金による販売で、500 個は来月支払ってもらうことにした。

① 売上 1,400,000 円発生とともに現金 1,400,000 円増加

② 売上 1,000,000 円発生とともに売掛金 1,000,000 円増加

③ 商品 1,200,000 円がなくなるとともに売上原価 1,200,000 円発生

	借方	貸方
①	現金 1,400,000	売上 1,400,000
②	売掛金 1,000,000	売上 1,000,000
③	売上原価 1,200,000	商品 1,200,000

(11) 今月も銀行へ 5,000 円の利息を現金で支払い、1 ヶ月のバイト代として 60,000 円を現金で支払った。利息や給料を考慮した儲け (利益) は 1,135,000 円だった。

① 支払利息 5,000 円発生とともに現金 5,000 円減少

② 給料 60,000 円発生とともに現金 60,000 円減少

	借方	貸方
①	支払利息 5,000	現金 5,000
②	給料 60,000	現金 60,000

テーマ	簿記の基礎 (Ⅳ)
-----	-----------

●集計

現金	
(7) 時点の残高 1,167,500	(11) ① 5,000
(9) ① 1,400,000	(11) ② 60,000
	残高 2,502,500

商品	
(7) 時点の残高 200,000	(9) ③ 1,200,000
(8) ① 1,500,000	残高 500,000

売掛金	
(9) ② 1,000,000	

備品	
(7) 時点の残高 500,000	

買掛金	
	(8) ① 1,500,000

借入金	
	(7) 時点の残高 500,000

売上	
	(9) ①② 2,400,000

売上原価	
(9) ③ 1,200,000	

給料	
(11) ② 60,000	

支払利息	
(11) ① 5,000	

●表の作成

貸借対照表	
現金 2,502,500 円	買掛金 1,500,000 円
売掛金 1,000,000 円	借入金 500,000 円
商品 500,000 円	資本金 1,367,500 円
備品 500,000 円	+ α (利益) 1,135,000 円

損益計算書	
売上原価 1,200,000 円	売上 2,400,000 円
給料 60,000 円	
支払利息 5,000 円	
+ α (利益) 1,135,000 円	